

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになつたあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

CDX-MP100X

Sony Corporation © 2001 Printed in Korea

取り付け部品の確認(付属品)

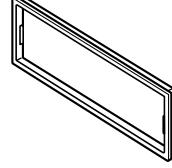
① ④ K5×8



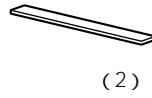
② ④ T5×8



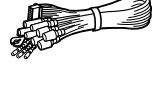
③ 日産車用プレート



④ 両面テープ
(プレート用)



⑤ 電源コード



この「取り付けと接続」に記載されている取り付け、接続先の機器はすべて別売品です。ただし、付属品は除きます。

ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内(FAX付電話でご利用になれます)

カーフィッティングFAXサービス 車両メーカー、車種・車両形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料
①インデックスの入手 / 03-3552-7209 車両メーカー別のBOX番号を受信
②資料請求 / 03-3552-7488 アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

- ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
- FAXサービスのメンテナンス日は毎月第2木曜日 午前8:00~午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、當日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)



安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



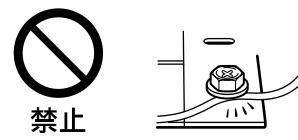
禁止



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシートレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリーがやりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

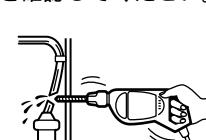
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



禁止



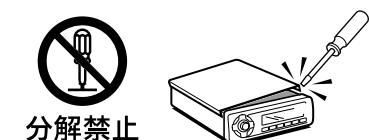
雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

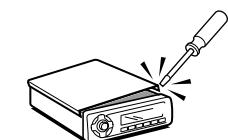
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えててしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものを使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



ヒューズ



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止



本機の通風口や放熱板をふさがない

通風口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止



アンテナは車体からはみ出さないよう取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



禁止



1 接続

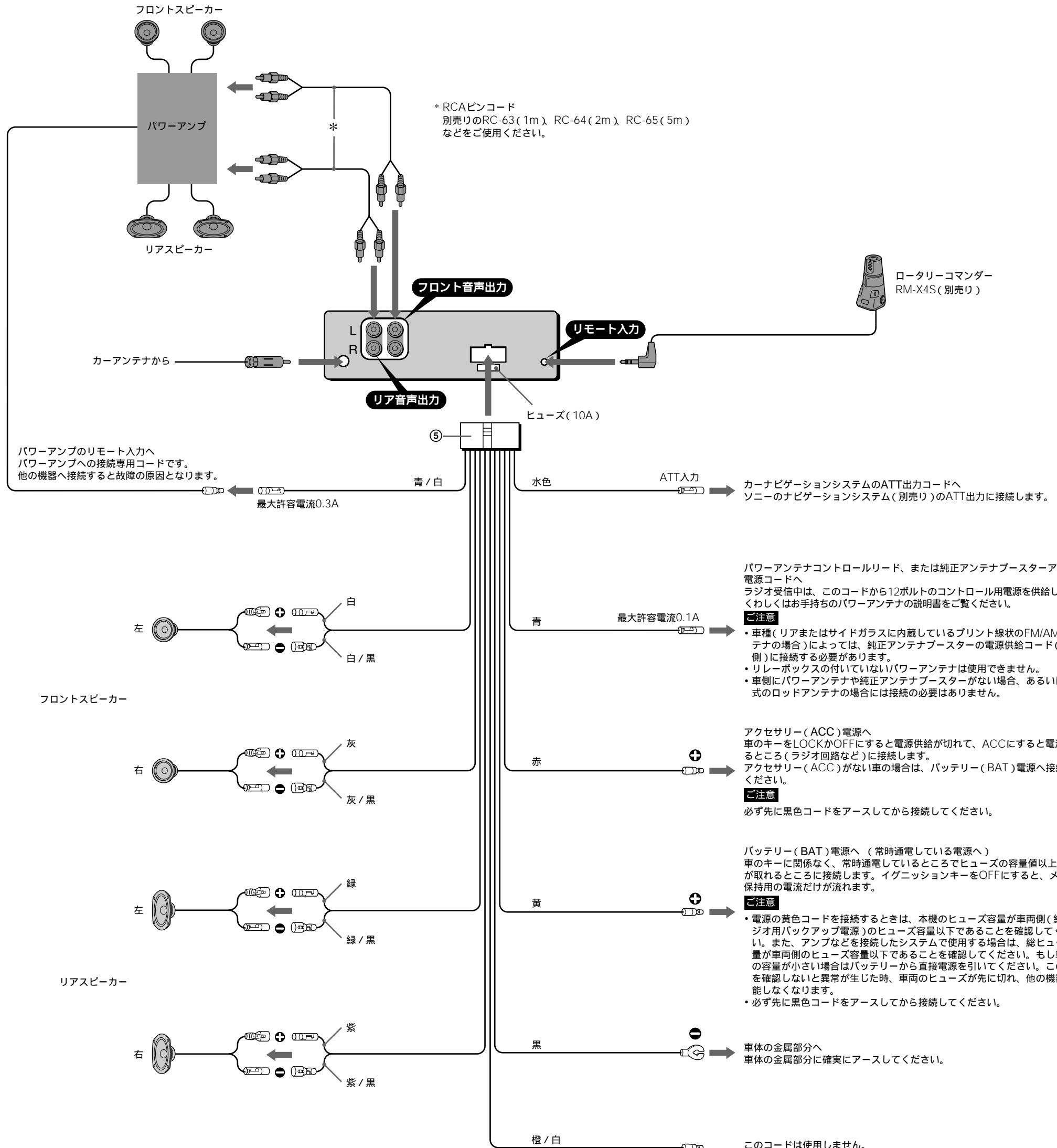
必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。

裏面の「システム接続例」、「ご注意」も合わせてご覧ください。

システム接続例
スピーカーを接続するときは
ヒューズについて
電源配線について
純正アンテナブースターの接続
パワーアンテナをお使いになる場合
ACCポジションのない車に取り付ける場合



2 本体を取り付ける

取り付け場所

こんな取り付け場所はお避けください。

- ・運転の妨げになる所
- ・同乗者の安全を損なう所
- ・グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所

- ・ほこりの多い所
- ・磁気を帯びた所
- ・直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- ・雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

ご注意

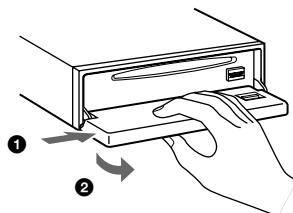
本機上面にある4個の周波数調整用ネジにはさわらないでください。
故障の原因になります。

フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。本機を取り付ける際は必ずフロントパネルを取り外してから作業をしてください。

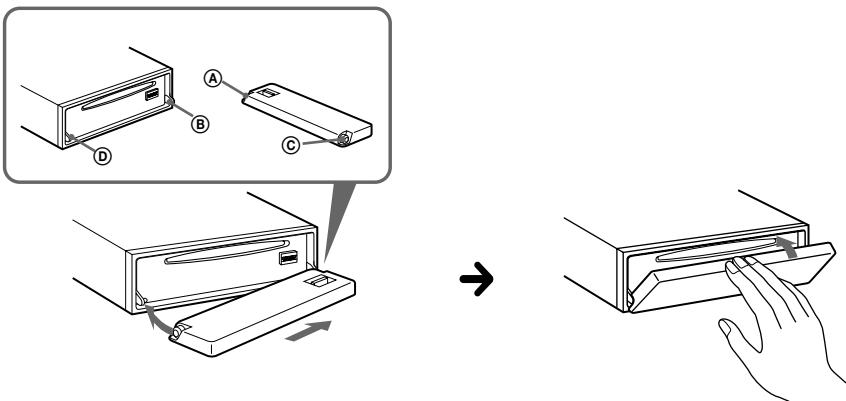
取り外し

必ず、OFFボタンを押して本機の電源を切ってから、OPENボタンを押してフロントパネルを開けます。図のようにフロントパネルを右に押しながら左側を手前に引いて取り外してください。



取り付け

フロントパネルのⒶ部分と本体のⒷ部分を合わせて、フロントパネルを押し込み、フロントパネルのⒸ部分と本体のⒹ部分を合わせて取り付けます。

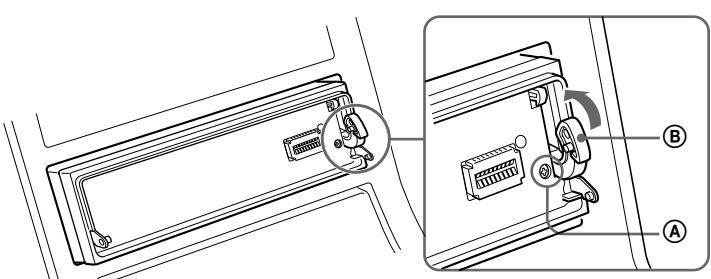


フロントパネルが開けにくいときは

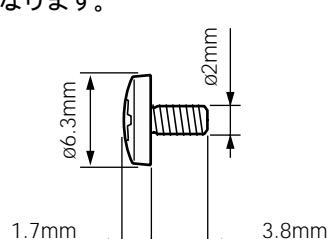
車種によっては取り付け角度により、フロントパネルが開きにくくなる場合があります。このようなときは、図のレバーⒷを矢印の方向にロックしてから銀色のネジⒶを外してください。

ご注意

取り外したネジⒶは大切に保管してください。



取り外したネジを取り付ける場合は、先にレバーⒷを矢印の方向にロックしてから行ってください。レバーⒷが出たままでネジⒶを取り付けると故障する場合があります。他のネジで取り付ける場合は、下記のサイズのネジをお使いください。これ以外のサイズのネジを使うと故障の原因となります。

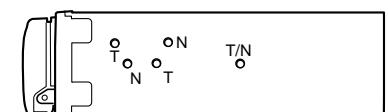


センターコンソールやインダッシュに取り付ける

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、その後に本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

ご注意

- ・水平から+60度以内で取り付けてください。60度以上傾けて取り付けると、CDの音飛びなどの原因となります。
- ・純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT(トヨタ車用)、N(日産車用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ①または②で取り付けてください。



1 純正カーオーディオを取り外す。

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外します。(取り外しがわからぬ場合は、この「取り付けと接続」表面に記載されているソニーFAXインフォメーションサービスなどをご利用ください。)

2 本機を取り付ける。

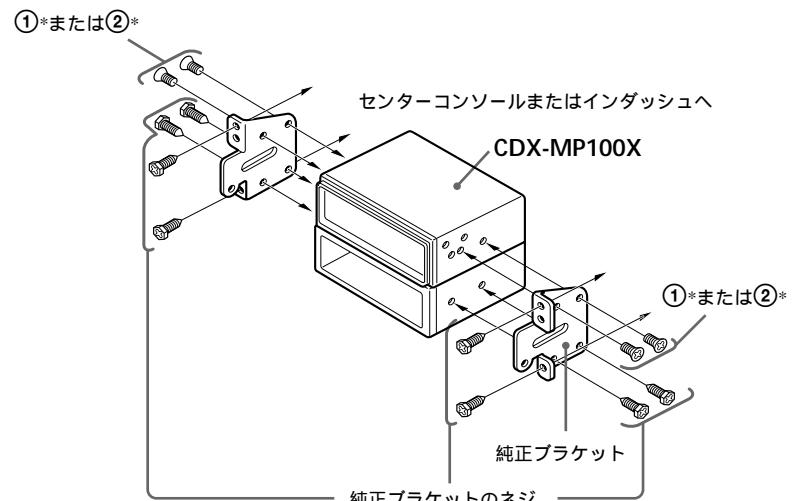
カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

ご注意

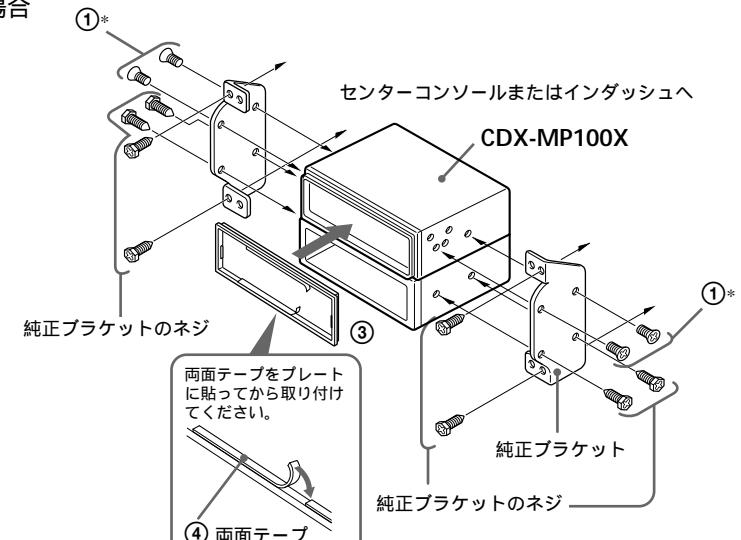
- ・本機の取り付けの際は必ず付属のネジをお使いください。また、車両側の純正ブラケットを通さずに本体に直接ネジを締め付けると、故障の原因になります。
- ・本機のフロントパネル部の表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- ・本機の上部に物をはさみ込まないでください。
- ・純正ブラケットをはさんでネジ①または②を締め付けてください。ネジのみを本体に締め付けると故障の原因となります。

トヨタ車/三菱車の場合(イラストはトヨタ車の場合)

①と②のネジは取り付ける車両により使い分けてください。
三菱車に本機を取り付ける場合は、②のネジをご使用ください。



日産車の場合



* 付属の皿ネジ①またはトラスネジ②で取り付けてください。
他のネジを使用すると故障の原因となります。

3 取り付けと接続が終わったら

1 ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確認する。

2 リセットボタンをつまようじの先などで押す。

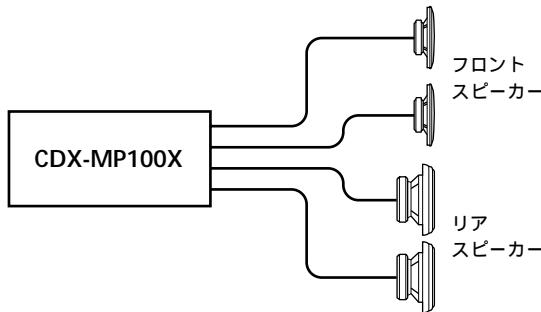
ご注意

- ・リセット後は、必ずOPENボタンを押していったんフロントパネルを開閉してから、他の操作をしてください。また、すでにCDが入っている場合は、挿し直してから操作してください。リセット後そのまま操作すると、「NO Disc」などのエラー表示が出て正しく動作しないことがあります。
- ・針のようなもので強く押すと故障の原因となります。

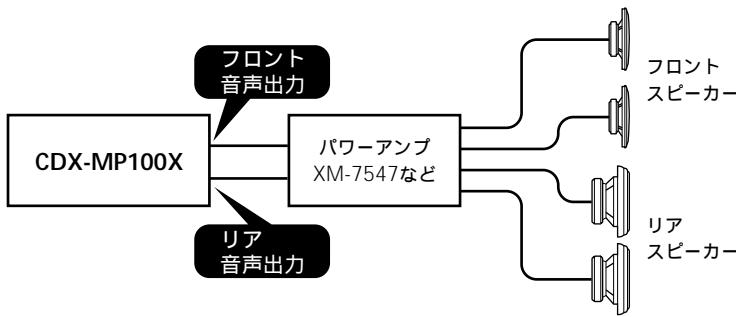


システム接続例

接続例1



接続例2



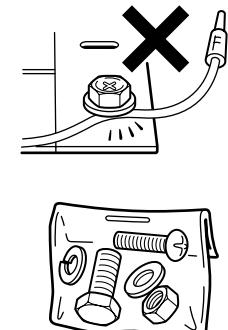
ご注意

- 先にアースコードを接続してから、パワーアンプの接続を行ってください。
- パワーアンプを接続すると、本機のボタンを押したときの「ピッ」という音は出なくなります。

ご注意

ビス・ナット類

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- 外したビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- 外すビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。



スピーカーを接続するときは

次のことをお守りください。スピーカーの故障や破損の原因になります。

- スピーカーを接続する前に、必ず本機の電源をOFFにする。
- インピーダンス4~8Ωのスピーカーを使う。
- 十分な許容入力を持つスピーカーを使う。
- スピーカーの④、⑦端子を車のシャーシなどに接続しない。
- 本機のスピーカーコードどうし(特に④端子どうし、⑦端子どうし)を接続しない。
- 既設の純正スピーカーコードを使う場合、左右のスピーカーコードの⑦側が共通になっているものは使わない。
- 本機のスピーカーコードにスピーカーを接続しない場合は、コードには何も接続しない。
- 本機のスピーカーコードにアクティブスピーカー(アンプ内蔵スピーカー)を接続すると、本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーの使用を避け、通常のスピーカーをお使いください。
- トヨタ車や三菱車、日産車にはトレードインスピーカーがあります。くわしくはお買い上げ店にご相談ください。

ヒューズについて

- 本体の後ろにあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。
- 本機の黄色コード(バッテリー電源入力コード)を接続する前に、本機のヒューズ容量が車両側のヒューズ容量(ラジオまたはオーディオ電源)以下であることを確認してください。判断が難しい場合は、お買い上げ店にご相談ください。

電源配線について

車種によっては、車両側の配線が細い(電流容量不足)ため、エンジンアイドリング時にライトやエアコンを動作させると、正常に動作しないことがあります。この場合は、別売りの電源コードRC-39を使って電源配線することをおすすめします。

純正アンテナブースターの接続

車種(リアまたはサイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合)によっては、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続する必要があります。この場合はパワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリー電源(赤色)を接続してください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。

パワーアンテナを使いになる場合

本機裏面から出ている青色コードをパワーアンテナ(リレー搭載付き)に接続してお使いになると、ラジオの電源を入れた時にパワーアンテナが自動的に出ます。

ACC(アクセサリー)ポジションのない車に取り付ける場合

お車を離れる際は、必ず本機のOFFボタンを2秒以上押して時計表示が消えたことを確認してください。

OFFボタンを短く押しても、時計表示が消えずにバッテリー上がりの原因となります。またこの場合、赤色の電源コードは黄色のコードと同じところ(バッテリー電源)へ接続してください。